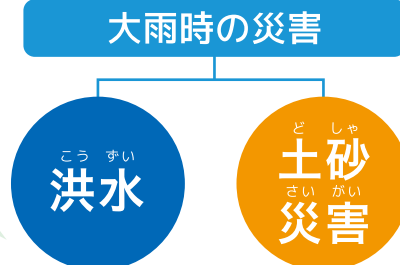


## 大雨の時には、どんな災害が起こるの？

洪水や土砂災害の発生が考えられるのだ。



## インターネットでも防災マップを見ることができるの？

このウェブサイト  
にアクセスしてごらん。

とっとり市地図情報サービス

とっとり市地図情報サービス

検索

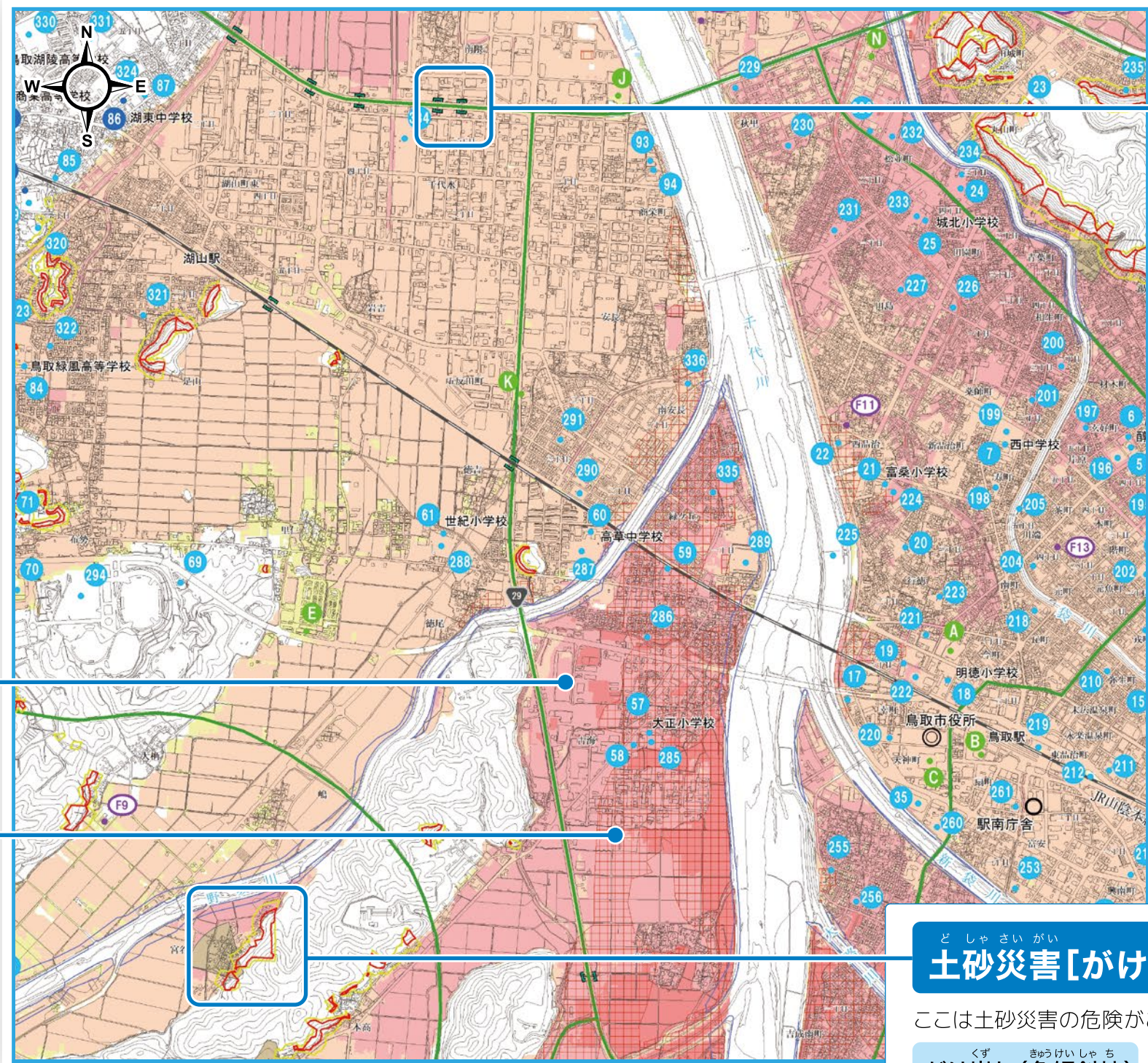
<https://gis.city.tottori.lg.jp/webgis/>

※アクセス後「ハザードマップ」をご覧ください。



## 防災マップには何が書いてあるの？

災害時の危険箇所や避難場所の位置が示してあるのだ。  
それでは、マップの見方を説明しよう。



### 凡例

**施設等**

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- アンダーパス(冠水するおそれのある道路)
- 協定に基づく避難場所
- 福祉避難所(P.62参照)

**津波基準水位**

河川氾濫浸水深(想定最大規模)

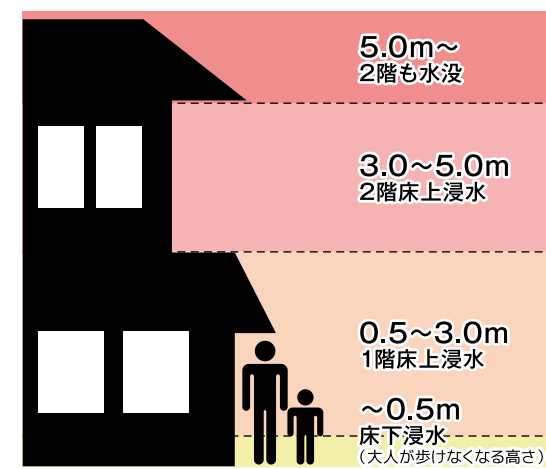
浸水深	浸水深
5.0m以上	5.0m以上
3.0~5.0m	3.0~5.0m
0.5~3.0m	0.5~3.0m
~0.5m	~0.5m

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)  
家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

**土砂災害警戒区域・特別警戒区域**

- 急傾斜地\_特別警戒区域
- 急傾斜地\_警戒区域
- 土石流\_特別警戒区域
- 土石流\_警戒区域
- 地すべり\_警戒区域
- 急傾斜地\_特別警戒区域(指定前)
- 急傾斜地\_警戒区域(指定前)
- 土石流\_特別警戒区域(指定前)
- 土石流\_警戒区域(指定前)
- 地すべり\_警戒区域(指定前)

浸水深に応じて、マップを色分けしています。



※マップの着色範囲は、洪水時に浸水する可能性のある区域(洪水浸水想定区域)です。河川氾濫浸水深は実際の浸水深と異なる場合があるので十分な注意が必要です。

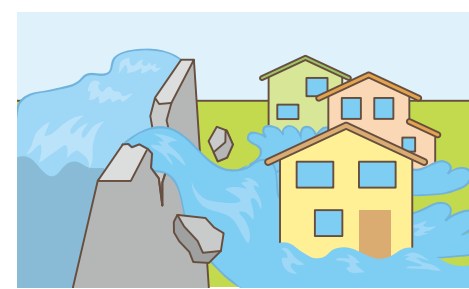
## 想定最大規模の降雨

この防災マップでは、想定最大規模の降雨を想定してシミュレーションを行っています。対象河川の前堤となる降雨は以下のとおりです。

河川管理者	対象河川	前提となる降雨
国土交通省	千代川	508mm/48時間
	袋川	
	新袋川・袋川	
鳥取県	八東川(国管理区間)	624mm/24時間
	大路川	
	野坂川	
	勝部川・日置川	
	塩見川	
	河内川	
鳥取県	八東川(県管理区間)	594mm/24時間
	私都川	678mm/48時間

※想定最大規模の降雨：過去に観測された最大の降雨量に基づき想定される最大規模の降雨  
出典元：国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 鳥取県 県土整備部 河川課

## 外水氾濫(洪水)



この場所の河川氾濫浸水深は3.0~5.0mです！(2階浸水相当)  
大雨の時には早めの避難を！  
堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象  
※総合防災マップでは、この外水氾濫(洪水)による被害を対象としています。

## 家屋倒壊等氾濫想定区域

この区域は、木造家屋を倒壊させるような激しい流れが発生する危険が高いため、早期避難が必要です！

### 氾濫流

堤防が決壊等により、家屋の倒壊等の危険がある区域

### 河岸侵食

河岸侵食により家屋の倒壊等の危険がある区域

マップに色が付いていない場所は安全ってことなの？

局所的な集中豪雨浸水する可能性が などの場合は、あるので油断大敵なのだ。

## アンダーパス

アンダーパスは水がたまりやすいので、大雨の際に進入すると危険です。



## 土砂災害[がけ崩れ、土石流、地すべり]

ここは土砂災害の危険がある区域なので早めの避難が肝心です！

がけ崩れ(急傾斜地)	土石流	地すべり
雨や地震などの影響により斜面が崩れ落ちる現象	山腹の土砂が豪雨等によって、一気に下流へ押し流される現象	地層に雨水などが浸み込み、地面が下方に動き出す現象
特別警戒区域	特別警戒区域	警戒区域
警戒区域	警戒区域	

出典元：鳥取県 県土整備部 治山砂防課